

やまが 市議会だより

第2号

平成26年8月1日

発行
山鹿市議会



(千人灯笼踊り)

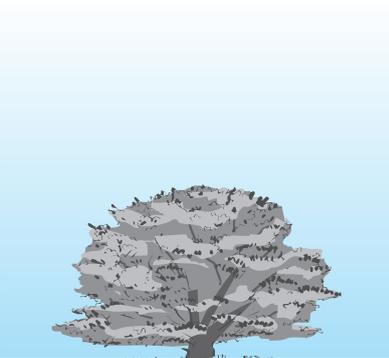
もくじ	審議結果・主な議案内容	P2
	委員会審査と調査	P3~5
	特別委員会報告・人権研修会の開催	P6
	市政のここが聞きたい(一般質問)	P7~10
	全国市議会議長会表彰受賞者紹介	P11
	議会の動き・議会用語の豆知識	P12

平成26年(第2回)6月定例会における審議結果表

議案等番号	案 件	結 果
議案第63号	専決処分の承認を求めることについて (山鹿市税条例等の一部を改正する条例)	承認
議案第64号	専決処分の承認を求めることについて (山鹿市都市計画税条例の一部を改正する条例)	承認
議案第65号	専決処分の承認を求めることについて (山鹿市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	承認
議案第66号	専決処分の承認を求めることについて (平成26年度山鹿市一般会計補正予算(第1号))	承認
議案第67号	山鹿市税特別措置条例の一部を改正する条例	可 決
議案第68号	山鹿市カルチャースポーツセンター条例の一部を改正する条例	可 決
議案第69号	平成26年度山鹿市一般会計補正予算(第2号)	可 決
議案第70号	財産の取得について	可 決
議案第71号	山鹿植木広域行政事務組合規約の一部変更について	可 決
議案第72号	固定資産評価員の選任について	同 意
議案第73号	人権擁護委員の推薦について	同 意
議案第74号	人権擁護委員の推薦について	同 意
議案第75号	工事請負変更契約の締結について	可 決
報告第 4号	専決処分の報告について	受 理
報告第 5号	専決処分の報告について	受 理
報告第 6号	専決処分の報告について	受 理
報告第 7号	平成25年度山鹿市一般会計継続費繰越しの報告について	受 理
報告第 8号	平成25年度山鹿市一般会計繰越明許費繰越しの報告について	受 理
報告第 9号	平成25年度山鹿市水道事業会計予算繰越しの報告について	受 理
報告第10号	平成25年度山鹿市下水道事業会計予算繰越しの報告について	受 理

主な議案

- 議案第63号 (専決処分)山鹿市税条例等の一部を改正する条例
 ○ 地方税法の改正に伴うもの
 市税の改正
 法人税割の税率
 14.7% → 12.1%
 軽自動車税の改正
 (例えば4輪乗用自家用車)
 7200円 → 1万8000円など
- 議案第65号 (専決処分)山鹿市国民健康保険税条例の一部を改正する条例
 ○ 地方税法施行令の改正に伴うもの
 課税上限額の改定
 後期高齢者支学金等
 14万円 → 16万円
 介護納付金
 12万円 → 14万円
 ・ 国民健康保険税減額の基準の改定
 2割・5割減額対象の適用拡大
- 議案第66号 (専決処分)平成26年度山鹿市一般会計補正予算(第1号)
 ○ 家畜防疫対策事業
 鳥インフルエンザ発生対策等
 108万8000円
- 議案第68号 山鹿市カルチャースポーツセンター条例の一部を改正する条例
 ○ スポーツセンターの管理を指定管理者に行わせることができるようにする規定整備
- 議案第69号 平成26年度山鹿市一般会計補正予算(第2号)
 補正額5236万4000円
 ○ 保育環境充実支援事業
 三玉保育園改修補助
 1252万8000円
 労務単価等高騰に伴う補助単価見直し(県3分の2・市3分の1)等
- 議案第70号 財産の取得について
 ○ 消防小型動力ポンプ積載車
 7台2664万3600円
- 議案第75号 工事請負変更契約の締結について
 ○ 庁舎建設工事インフレスライド条項(賃金資材等の高騰)
 4938万8000円
 (国・県の指導)



庁舎が秋に完成予定

総務文教常任委員会 6月12日開催

◆付託案件 議案 1件・承認

4件・可決

◆主な審査内容

■教育委員会関係

議案第68号 山鹿市カルチャースポーツセンター条例の一部を改正する条例

問

指定管理者への移行時期的なものはあるか、また指定管理者への裁量権は考えているか。

答

平成27年度4月から指定管理者への移行を考えている。指定管理者は民間のノウハウを最大限に活用し、教室、イベント等の開催や大会等の誘致ができるほか、教育委員会の承認は必要だが、利用期間や利用時間等についての変更を提案することができる。

※他に教育部から学校規模適正化事業の現在の進捗状況や鹿北町の公立保育園の経過報告について説明を受けた。



山鹿市カルチャースポーツセンター

■総務部関係

議案第66号 専決処分の承認を求めることについて(平成26年山鹿市一般会計補正予算(第1号))家畜防疫対策事業

問

毎月全員協議会を開催している中で、専決処分を少なくしてほしい。

答

報告については全員協議会で、専決処分については、できるだけ臨時議会で対応に努めたい。

問

議案第70号 財産の取得について

消防小型動力ポンプ積載車の価格が、平成24年、25年度は1台当たり350万円程度になるが、今年度は380万円位になっている。これは自然増の他具体的な理由はなにか。

答

自然増の他に、消費税率が3%上がっている。

問

消費税は平成24年、25年とも、5%入っていたか。今までの積載車には、5%の消費税が入っている。

答

※他に総務部から4月1日付けで本市の重点施策の実施に合わせて、新庁舎機能移転を前倒しした新組織の概要について説明を受けた。

■現地調査

1 熊本県立菊池支援学校 高等部山鹿分教室

今年4月新たに鹿本商工高等学校内に開設された、「熊本県立菊池支援学校高等部山鹿分教室」を視察した。高橋校長からは、分教室が開設されるまでの経緯や、ほとんど毎日欠席もななく明るく元気に通っている生徒の様子など開設からこれまでの活動状況について説明を受けた。山鹿分教室の「教育基本方針」や、「めざす生徒像」など、広く運営に関する理念等について、話を聞くことができた。

2 新庁舎建設現場

現在、9月中の完成を目指し、第一期工事が進められている。「市庁舎」、並びに、併設の「市民交流センター」の工事現場を調査した。建設中の建物内に入り、最上階から順に、各フロアーを巡回した後、「市民交流センター」を見学し、工事の担当者から作業の進捗状況



新庁舎現地調査



積載車

税条例を審議!!

福祉厚生常任委員会 6月11日開催

◆付託案件 議案 3件・承認 議案 1件・可決



◆主な審査内容

議案第63号 専決処分の承認を求めるところについて(山鹿市税条例等の一部を改正する条例)

地方税法の改正に伴い条例を改正する必要が生じたもので、主な改正は「軽自動車税の標準税率の改定」と「軽自動車税の特例の適用について」など。

問

トラクターなどの農耕車両でナンバープレートがないものがあるが課税対象ではないのか。

答

ナンバープレートをつけていなくても交付していれば、課税対象である。申告制なので不公平にならないように適正課税をしていく。

問

軽自動車税の標準税率が具体的にどのようなように改正されるのか。

答

平成27年度から、二輪と小型特殊は現行の1.25倍、1.5倍の増額になる。ただし、2000円以下のものは2000円となる。平成28年度からは、三輪以上の

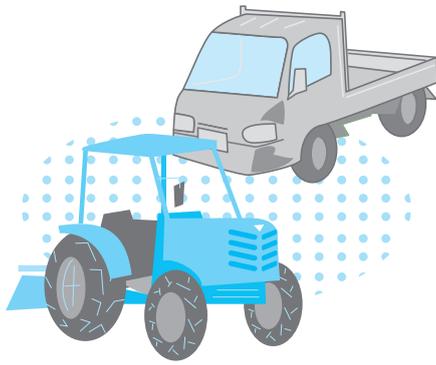
問

軽自動車も現行の1.25倍、1.5倍になる。例えば、自家用乗用車について、7200円から1万8000円に引上げられる。ただし平成27年3月31日まで新規登録された車両については、現行7200円のまま据え置かれる。

軽自動車税の特例で重課税になるものはどんな場合でその税率はどのくらいか。

答

最初の新規検査から13年を経過したものは、グリーン化を進める観点から、平成28年度以降概ね20%の重課税率となる。



議案第65号 専決処分の承認を求めるところについて(山鹿市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)

地方税法施行令の改正に伴い条例を改正する必要が生じたもので、主な改正は国民健康保険税の課税限度額の引き上げおよび低所得者に係る国民健康保険税軽減措置の拡充。

問

その内容についての詳細を尋ねる。

答

後期高齢者支援金等課税額の上限度額14万円が16万円に、介護納付金課税額の上限度額12万円が14万円に改められ国民健康保険税が増額されるもの。併せて国民健康保険税の減額の算定基準見直しにより、2割軽減および5割軽減を受ける対象世帯は拡大され国民健康保険税が減額されるもの。

問

改正による影響額はどのくらいになるのか。

答

国民健康保険税の増額分は約760万円、減額分は約2800万円となる。2800万円については県と市で補填するので国民健康保険事業特別会計には増額分がプラスに作用する。

2 ごみ焼却施設建設予定地(山鹿市民スポーツセンター)

建設等のスケジュールはどうなっているか。

答

平成26年度に施設の規模や配置の決定および生活環境影響調査、測量等を実施する。平成27年度に基本設計、平成28年度に実施設計、平成29・30年度に建設を行い、平成31年4月1日から本稼働予定。

3 小規模多機能ホーム うすづか

利用者本位の運営、地域との連携、法人の改革を柱に運営している。配食サービスや口腔ケア、個別ケアに力を入れている。

介護予防拠点も併設しており、子育てサロンも行われている。また、施設内に授乳室も設けてある。

■現地調査

1 ひだまり

主な改修

- (1) 執務室、防災無線室、宿日直室などの整備
- (2) 図書館の増築
- (3) 2階デッキの改修およびシャワー室の完備

支所庁舎解体跡地に駐車場を整備し既存駐車場と合わせて約180台のスペースが確保される。



小規模多機能ホームうすづか現地調査

家畜伝染病の感染拡大防止!!

建設経済常任委員会 6月10日開催

◆付託案件 議案 1件・承認 議案 1件・可決

経済部関係

議案第66号 専決処分の承認を求めるところについて(平成26年度山鹿市一般会計補正予算(第1号))

答

豚流行性下痢症に感染した豚はそのままでもいいのか、殺処分しなければならぬのか。
豚流行性下痢症については、法定伝染病ではないため強制的な防疫措置は行なわない。

問

豚流行性下痢症に感染した豚はそのままでもいいのか、殺処分しなければならぬのか。

◆主な審査内容

建設部関係

議案第69号 平成26年度山鹿市一般会計補正予算(第2号)

○浄化槽設置整備事業

4207万6000円の増額
農業集落排水事業の計画区域見直し(重点地区拡大)に伴うもの。

問

○家畜防疫対策事業
108万8000円の増額
県内他市町村において発生した家畜伝染病(豚流行性下痢、鳥インフルエンザ)の感染拡大を防止するため、防疫対策を図るもの。

終息する時期が見えないという説明だが、防疫用の消石灰については今後も補正予算を行い対応していくのか。

答

消石灰の1袋あたりの金額は高くないため、今回の専決による予算で対応できると考えている。

答

農業集落排水事業の処理区ごとに集合処理をするよりも、合併浄化槽のほうが環境保全の面から効果が高いものと考えます。また、費用面に対しても集合処理と合併浄化槽を比較すると、維持管理費等の面から合併浄化槽のほうが利用者にとっても利便性のあるものと考えています。



消石灰配布作業

問

女性失業者雇用による地域文化交流事業217万円、農産物販売促進スキルアップ事業1996万6000円と説明にあったが、金額が違うのはなぜか。

答

雇用開始が7月と8月で異なっていることに加え、社内研修、社外研修の内容の違いによるものである。

問

この事業により人材の育成を行うが、その後の支援等も行うのか。

答

継続して雇用するというのが条件で行う事業であるが、人材育成のための事業支援というのは1年間だけである。

現地調査

長坂地区「経営体育成基盤整備事業」

「経営体育成基盤整備事業」を展開している長坂地区の現地調査を行った。

この事業は農地の利用集積を進めることで、効率的かつ安定的な農業経営の確立を目的に熊本県と共同で取り組まれている。

長坂地区では、造成から40年を経過する用水路を中心に老朽化が進み、平成24年度から機能回復のため再整備が行われており、平成25年度には用水路、排水路及び堀田堰の改修工事が完了していることから、その現況の確認を行った。



堀田堰現地調査

議会活性化特別委員会

佐賀県嬉野市に学ぶ!

市民福祉の向上を目的として、今、山鹿市議会では議会の活性化を図っている。

平成24年に日経グローバルの議会改革ランキングで全国3位の佐賀県嬉野市の取り組みを調査した。

お茶と温泉で知られる嬉野市は人口約27,000人。平成18年に2町合併しているが、市民から「議会は政策の提言など何もせず市長の政策について反対しない」と言われていたため、本来の議員の職責を果たすためその一つとして平成21年に「議会基本条例」が策定されている。

条例のポイントとして①市民参加②情報公開③議会機能強化をあげている。

市民と議会との関係では、すべての会議は原則公開であり、議会のインターネット中継も行われている。議会広報は年4回の発行、議会報告会も年2回8カ所で開催されている。

行政と議会の関係では、一般質問の制限時間を90分にする、執行部全員に反問権(※)を付与するなどが盛り込まれている。

自由討議の保障では、全員協議会の定義を明確にし、政策討論会も行うこととしている。

予算委員会及び決算委員会を構成し、詳細に記載された当初予算・主要事業説明書や、主要施策の成果説明書(決算)をもとにチェック機能も十分に果たされている。



嬉野市議会研修

※反問権…議員の質問に対して論点・争点を明確にするため、逆に市長ほか市の職員が、議員に質問することができるもの。

人権に関する研修会を開催!

市議会では毎月定例で開催している全員協議会4月例会の開催に合わせて、議員研修の一環として、人権に関する研修会を開催しました。

講師には、山鹿市地域人権教育指導員の中山哲朗氏、及び、人権政策課男女共同参画推進室の田中智子室長をお招きし「人権のまちづくり」をテーマに研修を深めました。

講話では、今なお、解消しきれない、差別の実態や、本市の人権教育啓発活動推進の中心的組織であります、「山鹿市人権のまちづくり推進協議会」の新生誕生から、これまで10年かけて取り組んでこられた、様々な事業の成果について話を聞くことができました。

また、「男女共同参画社会づくり」に関する説明では、平成11年に国が定めた「男女共同参画社会基本法」の施行から、平成18年に「山鹿市男女共同参画推進条例」の制定に至るまでの経緯など、これまでの「男女共同参画社会推進のあゆみ」や「男性にとつての男女共同参画」などについて、詳しく解説していただきました。

参加した議員からは、「まずは、自分自身の人権感覚を更に磨き、市議会としても、地域に一層、人権尊重の精神が根付くよう、人権教育啓発に関するあらゆる取り組みを積極的に支援して、いかなければならない。」との意見が出されるなど、有意義な研修会となりました。



研修会のようす



質問

放課後児童クラブの拡充について問う

放課後児童クラブは単なる預かりの場ではなく遊びの中で生活を確立していく場であり、人格形成の場であるが専用区画の面積が狭い等、厳しい条件であり待機児童もいる。拡充を図る計画はあるか、また基準条例の策定はされるのか。



放課後児童クラブ

答弁:(教育部長)

児童がより良い環境で過ごせるよう検討したい。指導者の資質向上には市独自の研修を実施する。

また基準条例の策定も関係機関の意見を踏まえ策定していく。

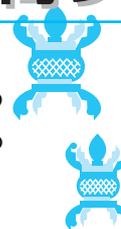


服部香代議員

質問 山鹿灯籠の継承と今後の取り組みについて問う

答弁:(経済部首席審議員)

後継者育成支援の継続に加え、国指定伝統的工芸品の指定を受け、振興会が行う振興計画書の作成・推進を支援し、和紙の安定供給、新商品開発や販路拡大等によるブランド力の更なる向上を目指す。



質問

日本語指導が必要な帰国・外国人児童生徒の支援について問う

答弁:(首席教育審議員)

現在4名の該当者がいる。サポートティーチャーを配置し、文部科学省発行の手引きや日本語指導資料を使い個別指導も行っている。

質問

レジ袋削減の取り組みと効果について問う

答弁:(市民部長)

平成25年4月から推進してきた。マイバッグ持参率はレジ袋有料店で約80%(無料店は約6%)と多くの市民にご協力頂いている。

1年間でレジ袋約70万枚を削減でき、原油200Lドラム缶に換算して約64本分の節約になった。今後も限りある資源の有効活用とごみの減量化へ向け、市民、事業者とも協力しながら取り組みを推進していく。



富田弘海 議員

質問

単独消防体制移行後の、常備消防体制整備について問う

答弁:(市長)

常備消防は、住民の生命・身体・財産の保護を目的とする重要な業務を担っており、消防力及び救急対応能力の低下を招くことは決して許されるものではない。今後とも、強固な消防体制の構築に向け、準備を進める。

質問 地域自治振興交付金制度の現在までの取り組み効果と交付金制度の今後について問う

答弁:(市長)

地域自治振興交付金制度は、地域の共同体を維持していくために必要な様々な地域づくり活動への財政的支援として、重要かつ有効な成果を果たしていると認識している。



山鹿植木広域消防本部

平成27年度から地方交付税の段階的削減が始まり、自立した自治体へと転換していくべき重要な時期を迎えている。そのため、本年度から財政健全化に向け、人件費改革・補助金改革・民間活力の導入を改革の3本柱に据え、合併の検証と併せて精査し、この交付金を含め、全ての事務事業を見直す方針である。

質問 菊鹿地域の統合小学校(通学路の安全対策)について問う

答弁:(教育長)

子どもの命を守り教えるという理念のもと、安全性の高い通学路を確保するため、危険箇所等の解消に向けて関係機関に強く働きかけることはもちろん、教育委員会全体でしっかりと安全教育対策に取り組んでいく。

質問 災害発生時の避難場所について問う



指定避難所(ひだまり)

三分田小柳地区の避難場所、誘導避難経路や緊急時の対応等が、橋の通行止めや道路冠水などの状況変化に対応しての対策を問う。

答弁:(総務部長)

避難場所に「ひだまり」を指定しているが、河川の増水等で橋の通行止めの時は「鹿央文化センター」などに避難していただき、地元と協議のうえ安全避難経路を設定する。緊急時は、国や県の雨量、河川水位情報を元に判断し、住民に周知する。



富丸洋一郎 議員

質問 分田橋の早期架け替え実現に向けた取り組み状況について問う

架橋後、約77年経過しているが歩道側帯や照明も無い。早期架け替えの要望を国、県にしているのか。また、学校再編計画で、統合学校の通学路になる場合、危険性が高くないか問う。

答弁:(建設部長)

これまでも国、県に対して要望活動をしている。県でも「分田橋は架け替えが望ましい橋」と認識され、本市も架け替えが必要な橋梁であると考えており、今後も更なる要望活動を継続する考えである。

答弁:(教育部長)

学校再編計画においても通学路の安全性の確保に努める。分田橋は通学路としての危険性も高く、経路や通学方法等を含めた検討・協議をして、安全な通学路を確保する考えである。



北原昭三 議員

質問 市営住宅の現状について問う

家賃は払っているが、住宅本来の住居として使用されていない部屋はないか。また、トイレの水洗化を行っていない団地への水洗化の計画はあるのか。

答弁:(建設部長)

津留団地▶



長期入院者や仕事の関係などで不在の方がいる。水洗化の計画は、鍋田団地については本年度測量設計委託を行う予定。鹿央地区の上久野団地については、平成27年度から調査測量等を進める。

質問 地域包括ケアシステムの構築について問う

国の方針で、地域包括ケアシステムの構築がうたわれているが、山鹿市の現状と今後の計画はどのようになっているか。

答弁:(福祉部長)

団塊の世代が75歳となる2025年を目標に、全ての市町村において地域包括ケアシステムの構築を目指すことが求められている。本市では、医療・介護・予防・生活支援の4点に取り組んでいる。

今後については、既存事業の見直しや新たな対応策を検討する。10年後を見据えた計画とする。

質問 高齢者福祉について問う

高齢者の見守り体制はどのようになっているか。緊急通報装置の貸与、利用状況について。

また、認知高齢者に対する位置情報専用探索機の利用状況について問う。

答弁:(福祉部長)

地元民生委員さんの訪問活動並びに関係機関より見守り活動を行っている。

本年4月末現在で、緊急通報装置利用者は81人、位置情報専用探索機利用者は6人となっている。

質問 都市計画区域内の危険(老朽)家屋について問う

- ① 危険(老朽)家屋の状況把握についてはどうか。
- ② 空き家等の適正管理に関する条例の運用はどうか。
- ③ 条例の市民への周知についてはどうか。
- ④ 道路へ倒壊した場合の対応はどうか。
- ⑤ 危険家屋の市への寄付や行政の代行執行についてはどうか。



横手啓介 議員

答弁:(総務部長)

- ① 現在市内に661戸の空き家があり、危険(老朽)家屋は、都市計画区域内に9件確認している。
- ② 管理不全な状態の空き家等を所有する者に対して指導助言・勧告・命令を行い、また、命令に従わない時は、所有者の住所及び名前の公表をすとなっている。
- ③ 広報やまがでお知らせしているが、今後ホームページで周知を行う。
- ④ 道路管理者の監督処分として原状復旧を命じている。緊急の際は、市で回復を図る。
- ⑤ 他の自治体では行っているところもあるが、山鹿市としては現条例で対処し、所期の目的が果たせないような状況になるようであれば条例の見直しも考える必要がある。

質問 スポーツ施設の整備について問う

答弁:(教育部長)

山鹿市民スポーツセンターの代替施設として、第2次社会資本整備計画と併せ、カルチャースポーツセンター第2次整備計画において、多目的グラウンドやテニスコート等の整備を計画している。

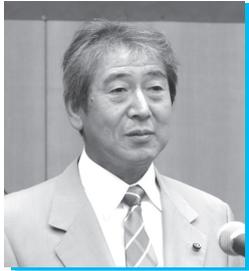
また、今年9月に開催される県民体育祭山鹿大会に備えた市民球場のスコアボード、カルチャー第1グラウンドや菊鹿グラウンドの改修工事、市民プールの修繕などを予定している。

利用者、利用団体との協議を行いできる限り要望に応えられるよう対応していきたい。



質問

山鹿の偉人シリーズの今後の予定とその業績の周知について、さらに、偉人の頂点にある清浦伯の銅像建立について問う



吉本政幸 議員

答弁:(教育部長)

「山鹿の偉人シリーズ」として、現在まで29名の方の小冊子を作成しているが、今後は資料等も少ないため集約しての発刊を考えている。また、「写真パネル」等の巡回展や企画展を実施してその業績を周知する。

答弁:(市長)

清浦伯の銅像については、寄贈された方々の思いを勘案すると現在地からの移転は考えにくく、新たな建立については、市民の機運を見守りたいと考えている。



清浦奎吾伯銅像

質問 浄化槽設置整備事業について問う

補正の経緯、農業集落排水事業の計画区域除外による合併浄化槽整備重点地域及び補助の継続について問う。

答弁:(建設部長)

農業集落排水事業の計画区域の見直しによる合併浄化槽重点地域の拡大に伴い申し込みが急増したため、当初想定基数61基に59基を追加し、合計120基を計上している。

合併浄化槽整備重点地域は、公共下水道事業の計画区域と農業集落排水事業の実施区域以外の山鹿地区の27地域、鹿北地区の21地域、鹿央地区の15地域を設定した。

平成25年度に新たな浄化槽設置整備事業を含めた、生活排水処理計画を策定し、計画期間を平成26年度から5カ年間、計画設置基数を410基としている。また、浄化槽重点地域整備事業(通称、上乘せ補助)は、平成22年度より5カ年計画で実施し、本年度が最終計画年度となる。

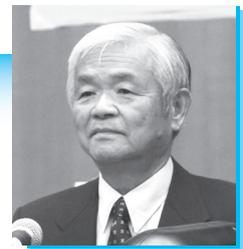
質問 合併10年目の平成26年度に行う各種計画の策定、見直し業務等について、及び本年度業務実施について問う

答弁:(総務部長)

本年度は、通常の行政サービスに加え、第2次社会資本整備計画(H27～H31)の策定や新市建設計画の見直し、その他事務事業の見直しなど財政健全化に向けた取り組みを、次年度予算編成に反映させるべく8月から年末にかけて実施予定。併せて合併10年の検証も行う。第2次総合計画については、本年度及び来年度の2カ年かけて策定する。

答弁:(市長)

平成26年度は、これまでの歩みを踏まえ、新たな10年のスタートに備える重要な年。このことを十分認識し、ゆるぎない信念と行動力を発揮し、職員と一緒に乗り切っていく。



永田紘二 議員



広報やまが5月号より

質問 合併特例債について問う

合併特例債の発行状況、今後の計画、及び10年間の社会資本の整備状況について問う。また、発行期限の延長に伴う発行計画について問う。

答弁:(総務部長)

合併後10年間の合併特例債の発行予定総額は91億1,210万円、その内訳は、新庁舎整備、学校規模適正化事業、総合支所再編整備事業、防災情報通信施設整備などである。これら社会資本の整備については、学校規模適正化事業を除き、概ね計画期間内に完了予定である。

特例債の発行期間の延長に伴う5年間の発行計画は、発行基本額の165億円を堅持しながら、第2次社会資本整備計画の策定に合わせて、財政規模に応じた適正水準を確保しながら精査する。

答弁:(市長)

計画期間内に整備を終えられなかった学校規模適正化事業については、第2次社会資本整備の中で、首長として強い信念をもって取り組むものである。

全国市議会議長会表彰受賞

【表彰規定】
10年以上及び15年以上市議会議員の職にある者。市町村合併により市制を施行した議員の場合は、町議会議員の勤続年数の2分の1を加算する。



永田 紘二議員
(15年以上)



太田黒 鐵郎議員
(15年以上)



丸山 寛治議員
(15年以上)



藤本 峰秀議員
(15年以上)



池田 誠一議員
(15年以上)



堀 茂幸議員
(15年以上)

5月28日に開催されました「第90回全国市議会議長会定期総会」(東京)において、議会議員として、長きにわたり地方自治の発展と振興に貢献された功績により、6人の議員が表彰を受けました。

人事 案件

市長から提出された「固定資産評価員の選任」及び「人権擁護委員の推薦」については、次のとおり同意しました。

〈固定資産評価員〉

山鹿市山鹿 梅崎 康二

〈人権擁護委員〉

山鹿市山鹿 藤森 純也(再任)

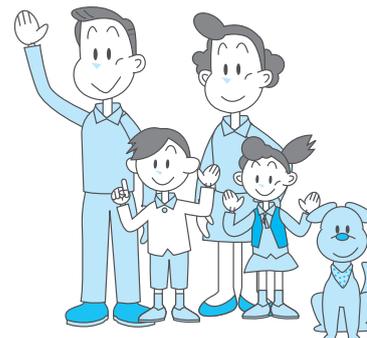
山鹿市菊鹿町 原田 勇(新任)

アンケートのご協力ありがとうございます。

7月の中旬から下旬にかけて無作為抽出による2,000名の方を対象に実施しました「市議会に対する市民の意識調査」に関するアンケートにご協力いただきありがとうございます。

このアンケートでお寄せいただきました市民の皆様のご意見等をもとに、市議会をこれまで以上、活性化していきたいと考えております。

なお、アンケートの結果につきましては、本紙および市のホームページに掲載いたします。



議会の主な動き

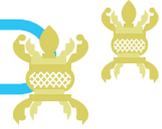
4月	7日 (月)	百歳到達者表敬訪問
	9日 (水)	市内小・中学校入学式
	11日 (金)	宇野親治公墓前祭
	12日 (土)	山鹿温泉祭
	13日 (日)	山鹿温泉祭
	14日 (月)	熊本県市議会議長会
	16日 (水)	日輪時公園つつじ祭り 安全祈願祭・開催式
	17日 (木)	議会活性化 特別委員会行政視察
	18日 (金)	岳間溪谷キャンプ場開き
	21日 (月)	建設経済常任委員会協議会
	23日 (火)	燈籠制作開始祭
	24日 (木)	九州市議会議長会総会 議会活性化特別委員会
26日 (土)	西南の役山鹿口戦没者慰霊祭	
30日 (水)	全員協議会・広報委員会 人権に係る研修会	

5月	8日 (木)	全国自治体病院経営 都市議会協議会総会
	10日 (土)	オムロンハンドボール部 ファン感謝祭
	14日 (水)	広報委員会
	16日 (金)	福祉厚生常任委員会協議会
	22日 (木)	百歳到達者表敬訪問
	23日 (金)	議会運営委員会 議会活性化特別委員会
	27日 (火)	全国温泉所在都市協議会総会 熊本県市議会議長会
28日 (水)	全国市議会議長会総会	
30日 (金)	6月定例会開会・全員協議会	

6月	6日 (金)	質疑・一般質問
	9日 (月)	質疑・一般質問
	10日 (火)	建設経済常任委員会
	11日 (水)	福祉厚生常任委員会
	12日 (木)	総務文教常任委員会
	13日 (金)	議会運営委員会
	17日 (火)	6月定例会閉会・ 全員協議会・広報委員会
	24日 (火)	広報委員会
	30日 (月)	百歳到達者表敬訪問

行政視察

ようこそ山鹿市へ



4月15日	石川県加賀市議会	「小・中学校の規模適正化事業」について
4月18日	長崎県議会	「山鹿市空き家バンク制度」について
5月7日	山口県光市議会	「市民医療センターの緩和ケアの取り組み」について
5月9日	鹿児島県 南九州市議会	「新庁舎及び組織のあり方」について
5月16日	佐賀県嬉野市議会	「まちなみ整備事業」について
5月20日	山口県下関市議会	「介護予防の取り組み」について
5月26日	茨城県桜川市議会	「バイオマスの概要」について

議会用語の豆知識

【議案】とは……

議会の議決を経るために、議長に提出される案件のこと。条例案、予算案、決算認定議案をはじめ、契約締結議案、人事同意議案、専決処分承認議案など。また、広い意味では、意見書案、決議案などを含む場合もある。

【専決処分】とは……

緊急で、議会を招集する時間がない場合などに限った補充的手段。法に基づき、本来議会の議決が必要な事項について、議決をせずに市長自らが決める(処分すること)。

ただし、市長は次の議会において報告し、承認を求めるとされている。

議会を傍聴に来ませんか!



本会議及び常任委員会は公開されており、どなたでも傍聴することができます。

市議会の定例会は3・6・9・12月の4回開催しています。

市議会では、市民のみなさんの生活に直結した重要な問題が審議されていますので、私たち議員の活動状況や市政の内容を知るためにも、ぜひ本会議及び常任委員会の傍聴においでください。

常任委員会の傍聴に関しては、先着順となっております。まずは議会事務局にて受付をお願いします。また、現地調査には随行できませんので日程は事前にお問い合わせください。

お問い合わせ先…議会事務局 TEL0968-43-1634

編集後記

暑中お見舞い
申し上げます。

先般、市議会だより創刊号を発売させていただきました。たがいかがだったでしょうか。今後の、市の大きな動きとして今年の秋には、第69回県民体育祭が山鹿市で開催されます。

また、新庁舎完成と喜ばしい情報もありますが、厳しい面もあるように思われます。私ども市議会も更に頑張らなくてはなりません。

市議会では、議会改革の一環として、市民の皆様にも市議会の状況をより多くの方に、傍聴していただくために、質疑・一般質問通告を市のホームページで公開しております。是非、ご覧いただきたいと思います。

市議会の役割や議員活動をより身近に感じていただくよう小さなことを大切に、一人でも多くの、市民の皆様が楽しみに読んでいただける紙面づくりに取り組んでまいります。

ご意見・ご要望等ございましたら、遠慮なくお聞かせいただきたいと思います。

広報委員 北原 昭三